



かのDRCのブドウ栽培担当が創設！
4世代続く隠れたブルゴーニュの名手！

Domaine Maurice Gavignet / ドメーヌ・モーリス・ガヴィネ

所在地：Bourgogne/ブルゴーニュ（フランス）
Nuits-Saint-georges/ニュイ・サン・ジョルジュ

19世紀に有名なドメーヌ・ドゥ・ラ・ロマネ・コンティにおいてブドウ栽培を担っていたオノレ・ガヴィネによってニュイ・サン・ジョルジュで創設されたドメーヌ。代々受け継がれる家族経営のワインメーカーであり、2008年より4代目アルノー・ガヴィネが当主となっています。

彼らのブドウ栽培のモットーは「土壌とブドウを大切にすること」です。素晴らしいワインを造るには、最高品質のブドウを生産する必要があります。そのためブドウの収穫は完全に手作業で行っています。また全ての区画で、農薬や化学肥料を極力使用しないリュット・レゾネによる自然なブドウ栽培が行なわれています。生み出されるワインは「上品でピュアなスタイル」が特徴で、畑仕事を重んじ、真摯にブドウ栽培に取り組む現当主アルノーの確かな力量が十分に発揮されています。アルノーは、当主となる前はラングドックでワイン造りに携わっており、2016年からはシャンパーニュ地方でブドウ栽培を行っています。様々な経験を積み重ねながら、真のプロフェッショナルとしてワイン造りに情熱を注いでいます。

設立当初、所有畑はニュイ・サン・ジョルジュ、ニュイ・サン・ジョルジュ・ブルミエ・クリュ・レ・シェニヨ、モレ・サン・ドゥニ・ブルミエ・クリュ・レ・ミランドなどのコート・ドゥ・ニュイのみでしたが、近年ではコート・ドゥ・ボークヌにも2.5haの畑を購入し、徐々に畑を拡大しています。

フランスの有名なワインガイド、アシェット・ガイド（LE GUIDE HACHETTE DES VINS）においては、2005年からようやく掲載されるようになり、長い歴史を持つ生産者でありながら、これまであまり注目されていませんでした。まさに知る人ぞ知る隠れたブルゴーニュの名手でしたが、近年知名度が上がってきています。また彼らのブドウ栽培のノウハウは非常に評価が高く、他の生産者からも一目置かれる存在となっています。今後益々の活躍が期待される生産者です。

